

小学校 歯科保健指導計画（案）

実施日 令和 年 月 日

対象学年		2年生		(	クラス)	指導場所	各教室
めあて		・むしばにならない は のみがきかたをおぼえよう。					
準備品	学校			児童各自			歯科衛生士
	①水が入ったペットボトル2L程度を2本 (うがい水の補充用として) ②印刷物児童数分 (準備品シートA3・はみがきカレンダーA4) ③ゴミ袋 (うがい水吐き出し容器・歯垢染色に使用した物の回収の為) ④忘れた児童用の補充品			①歯ブラシ(電動歯ブラシ不可) ②手鏡 ③フェイスタオル(25cm×70cm程度) ④洗濯ばさみ2個 ⑤コップ ⑥うがい水吐き出し用容器 (紙コップ・学校給食牛乳空きパック等) ⑦ポケットティッシュ			①指導用媒体 ②染色剤(液) ③綿棒 ④染色連結コップ
タイムスケジュール	分	担当	内容				机上の配置図
	15分	DH 1	○挨拶 校時始まりの号令 → 学校歯科医 → 歯科衛生士 ○机上準備品の確認及び注意事項 ○講話 ①むし歯の成り立ちについて考える。 どうしてむし歯になるの？ 歯垢って何？ 口腔内写真を提示し、永久歯(6歳臼歯含む)の萌出状況と自分の口腔内の状況を結びつける。 永久歯は、一生使う歯であり大切である。				別紙参照
	25分	DH 2	○観察, 実践 1. 観察 どこに歯垢が残りやすいかな？ 歯垢の見つけ方: 舌で歯を触ってみる。 「つるつる」「ざらざら」「ぬるぬる」等、実際に観察する。 2. 実践 いつもの歯みがき(1分)を実践する。歯みがきの際のブラッシング音を確認する。 歯ブラシの臭いは？ 3. 歯垢染色 歯垢染色により、歯垢付着部位を着色して観察する。 しこうがのこりやすいところ 「はとはぐきのあいだ」「はとはのあいだ」「おくばのかみあわせ」になぜ歯垢が残るのか。 →歯の複雑な形態や萌出部位で残りやすい事を学ぶ。(写真やイラストで再確認) 自分の口腔内の状況と結びつける。口腔内の染色状況を観察する。 永久歯(6歳臼歯含む)の歯垢付着はどうだったか、着目する。 4. 歯みがき学習 → どうすれば歯垢が落とせるかな？ 模型を使い磨き方を指導 歯みがき圧 → 優しい力で 歯ブラシの動かし方 → 前歯・6才臼歯それぞれの部位に合った磨き方を学習する。 「よこに小さくちょこちょこみがき」「1本ずつたてみがき」「つつこみがき」 5. とことん磨こう 鏡を見ながら、歯垢付着部位へ歯ブラシを当て磨く。 個別指導を含め、全ての歯が「つるつる」になるように歯を磨く。 6. 歯みがき後の口腔内を観察 舌で確認する。				
	5分	学級担任	○まとめ ・今日の学習を振り返る。 ・今日学習した事を、お家の人にも教えてあげよう。				
	【学級担任の先生へのお願い】 ①歯みがき指導前後に移動教室等がありましたら、ご配慮お願いします。 ②机の向きは全員前向きをお願いします。 ③授業開始までに準備品シート(A3)を机上に置き、使用物品を並べてください。 ④指導の充実を図るため休み時間に、準備の徹底をお願いします。 ⑤準備の関係上、歯科衛生士は授業開始5分前に教室へ入らせて頂きます。 ⑥当日は、染色剤が衣服に付着する可能性があります。汚れても構わない服装をお願いします。 DHとは、Dental Hygienist(歯科衛生士)の略称です。						